

## かばんの中身はなんだろう？第1弾！

【リハビリテーション部門 理学療法士 細谷さんのかばんの中】



- ① 記録用バインダー2枚
- ② 聴診器
- ③ 衛生セット
- ④ バイタルセット(血圧計・体温計・パルスオキシメーター)
- ⑤ セラバンド
- ⑥ 検査器具(打診器・二点識別覚検査器具・角度計・筆・メジャー)
- ⑦ はさみ・テープ
- ⑧ 滑り止めマット
- ⑨ スマホ用モバイルバッテリー

訪問時に、利用者さまから「かばんの中身何入ってるの？」とご質問があったため、リクエストにお応えしてかばんの中身をご紹介します！

リハビリで使う検査器具やセラバンド(筋力トレーニングに使用するゴムバンド)が常にかばんに入っています。

細谷さん、ご協力ありがとうございました☺✦

次回は、訪問看護師のかばんの中身をご紹介します。お楽しみに！

## ★訪問診療からのお知らせ

### 訪問予定時刻に関するお願い

当院では、患者さまの状態の急激な変化に、極力迅速に対応できるよう心がけています。そのため、診療当日になってお約束していた「訪問時刻の変更」をお願いする場合がございます。

また予定時刻については、直前の患者さまの診療時間によっても前後する可能性がございます。30分以上ずれる場合にはご連絡を差し上げていますが、30分以内の場合にはご連絡せずにお伺いさせていただいています。ご理解ご協力の程、お願い申し上げます。もし前後にご用事や他の介護サービス等の予定があるため、多少の時間変更でもご連絡がほしいという方は対応いたしますのでご一報ください。

## ★利用者さまからの作品ご紹介★

この時期にピッタリのクリスマスモチーフの作品をいただきました。  
全て折り紙で作られています。  
トナカイが可愛いですね♪



## ★おせちの由来★

お正月のお料理として古くから日本に伝わり食べられてきた“おせち”。

おせち料理の起源は、弥生時代にまで遡ります。

中国から「節(せち)」を季節の変わり目とする暦がもたらされ、節ごとに収穫を神様に感謝して、「節供(せちく)」といわれるお供え物をする風習が生まれたとされています。「節供」として供えた作物を料理したものが「御節料理」と呼ばれ、現在のおせち料理のもとになったと言われています。(諸説あり)

おせち料理は地域により違いますが、今回は一般的な中身をご紹介します。

- ・数の子…子孫繁栄
- ・黒豆…無病息災
- ・田作り…五穀豊穰
- ・たたきごぼう…豊作
- ・かまぼこ…日の出のように見えるので、新たな門出を祝う
- ・伊達巻き…学問や習い事、文化の発展
- ・栗きんとん…金運



おせち料理を食べる意味は、元日に年神様をお迎えし、1年の豊作と家族の安全を祈願するためと言われます。あらためて、一品一品に込められた先人の想いや祈り、願いを感じながら、重箱をご家族と囲んでみるのはいかがでしょうか。

## ★編集後記★

今年最後のまごころ LETTER をお届けいたしました。

「かばんの中身はなんだろう？」は、第2弾、第3弾と企画していますので、是非お楽しみに！  
日に日に寒さも厳しくなり、冬の訪れを感じてまいりました。皆さま、体調にはくれぐれもお気を付けください。

少し早いですが、今年も大変お世話になりました。来年もよろしく願いいたします。

(理学療法士:内山、事務:石塚)